

外国人旅行者に関する実態調査を初めて実施しました ～テーマ型調査としてクルーズ旅客調査も実施～

横浜を訪れた訪日外国人旅行者の実態を把握するため、平成30年度に初めて調査を実施しました。

基礎調査として、日帰り旅行者の全体量や横浜への来訪目的を調査するとともに、テーマ型調査として、外国客船の寄港数の増加を踏まえ、横浜港から乗船する外国人クルーズ旅客についての調査も実施しました。これらの調査を今後も継続し、結果を今後の施策に反映します。

また、本調査の結果（詳細）については、横浜市の公式ウェブサイト「観光に関する調査・統計データ」(<https://www.city.yokohama.lg.jp/kanko-bunka/miryoku/data/2018kanko-chosa.html>)に掲載します。

◎調査結果の概括

1. 全体量調査

- ・1月から9月までの来訪者数は、昼間が102万人、夜間が54万人で、宿泊旅行者は昼間来訪者の約半数
- ・昼間・夜間ともに、来訪の多い上位4か国・地域は、中国、台湾、米国、韓国
- ・昼間と夜間では、韓国と米国の来訪者数が逆転しており、韓国は日帰り旅行者の比率が高い。
- ・市内の観光消費額を上げるため、宿泊旅行者の比率を高める必要がある。

2. 来訪目的調査

- ・横浜への来訪目的は80%以上が「観光」、約7%が「ビジネス」
- ・観光で訪れた旅行者の目的は、「街歩き」と回答した人の比率が高いことが特徴
- ・今後、来訪目的をふまえた誘客プロモーションを行う必要がある。

3. クルーズ旅客調査

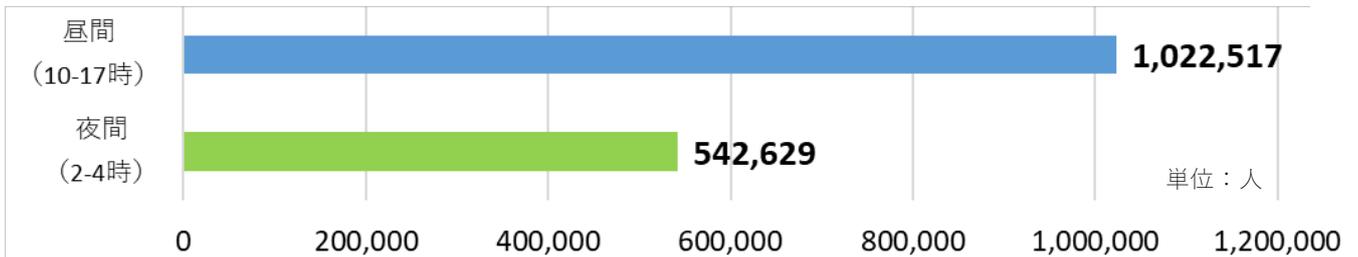
- ・乗船前の宿泊については、横浜での宿泊者数は東京の約3分の1であり、宿泊ニーズを横浜に取り込む必要がある。
- ・クルーズ旅行の手配方法は、米国では「オンラインで自ら行う」人が多く、英国では「パッケージ商品を旅行会社から購入」する人が多い。
- ・国別の旅行手配方法をふまえ、誘客セールス・プロモーション手法を変える必要がある。

1. 全体量調査

実施目的	横浜市に来訪する訪日外国人の全体量を把握する。
調査手法	ローミングデータ（NTT ドコモ）利用者数の観測
調査対象	平成30年1月から9月までに横浜市内に昼間時間（10-17時）、夜間時間（2-4時）に2時間以上滞在した訪日外国人の人口
データ上の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・サンプルは、入国してから出国するまでの捕捉できたデータをベースとして、法務省のデータを活用して拡大推計を行っている。 ・計測されている人数は2時間以上滞在した外国人のユニーク人数 ・複数日滞在した人も1人と見なされる。

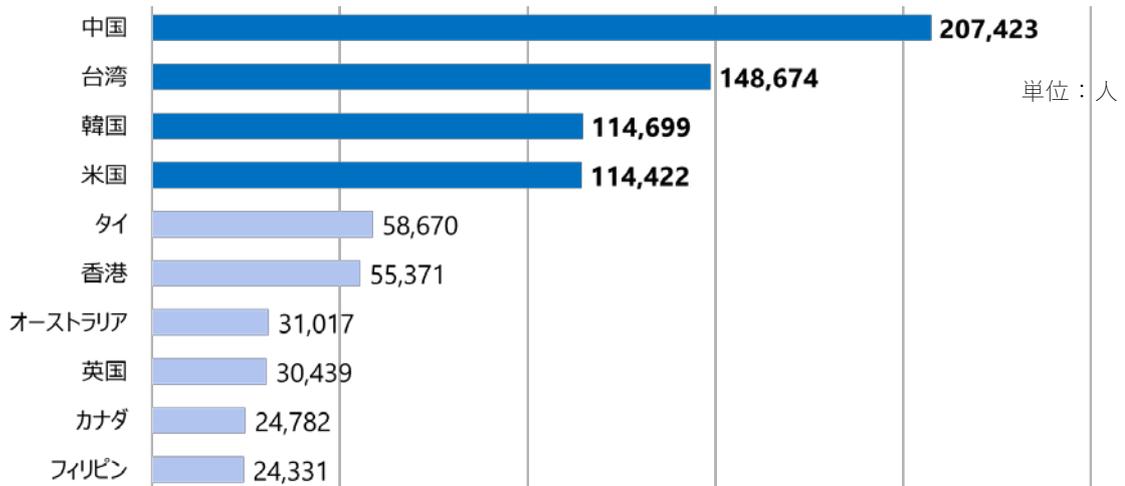
（1）時間帯別来訪者数

市内の昼間来訪者数は9か月で102万人、夜間来訪者（宿泊）は54万人



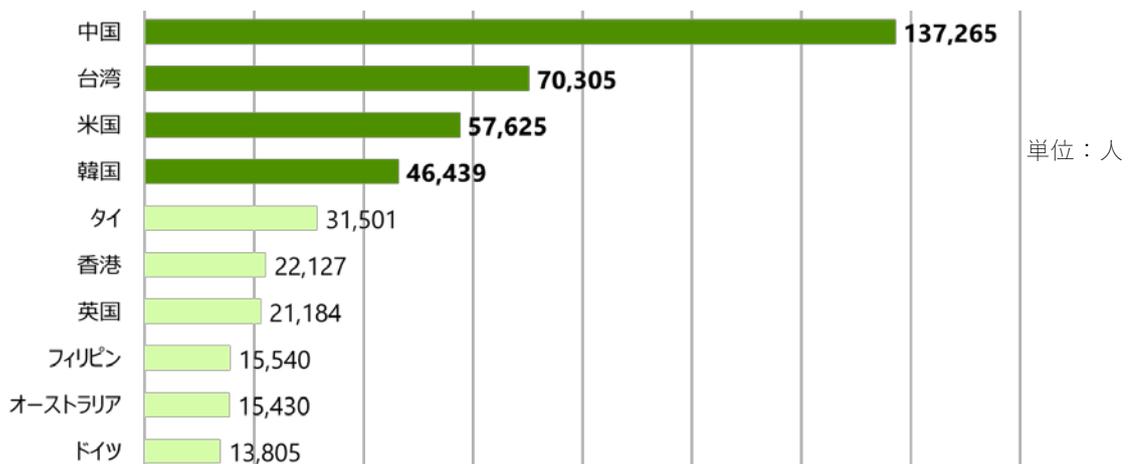
（2）国別来訪者数（昼間）上位10か国・地域

最も多かったのは中国（207千人）、次いで台湾（149千人）、韓国（115千人）、米国（114千人）



（3）国別来訪者数（夜間）上位10か国・地域

最も多かったのは中国（137千人）、次いで台湾（70千人）、米国（58千人）、韓国（46千人）

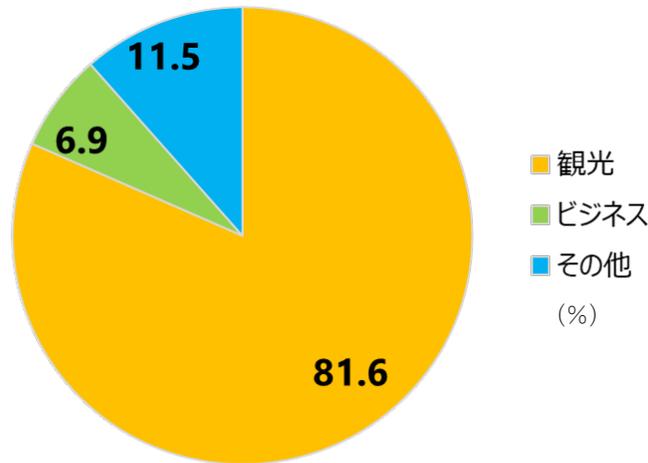


2 来訪目的調査

実施目的	横浜市に来訪する訪日外国人の来訪理由など来訪の内容を把握する。
調査手法	オンライン定量調査（インターネットによるアンケート調査）
調査対象	平成30年1月から12月の間に横浜を訪れたと回答した、次の国に居住する20歳以上の男女個人（旅行業、市場調査業、メディア、広告業を除く） 米国、英国、中国、台湾、韓国、タイ、インドネシア、マレーシア
調査期間	平成31年1月下旬～2月
サンプル数	米国、中国 各200s、その他の国各100s 合計1,000s
設問数と調査内容	<ul style="list-style-type: none"> 横浜への主な来訪目的 横浜で行ったこと 横浜に来訪するにあたっての情報源 など

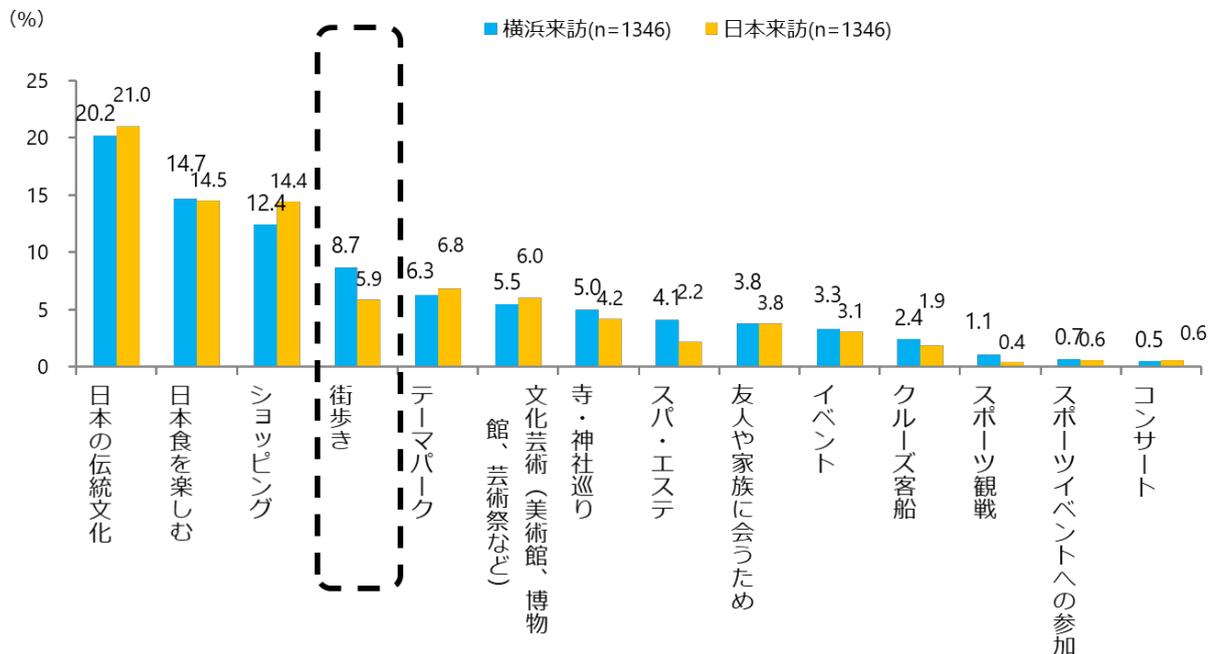
(1) 横浜への来訪目的

平成30年1月から12月に横浜を訪れたと回答した1,346人のうち、「観光」目的の来訪者は81.6%、「ビジネス」は6.9%



(2) 横浜への来訪目的

「観光」目的の来訪者について、主目的である「日本の伝統文化」、「日本食を楽しむ」、「ショッピング」では、日本と横浜の来訪目的で大きな違いはないが、横浜における来訪目的では「街歩き」の回答率が2.8pt高い。

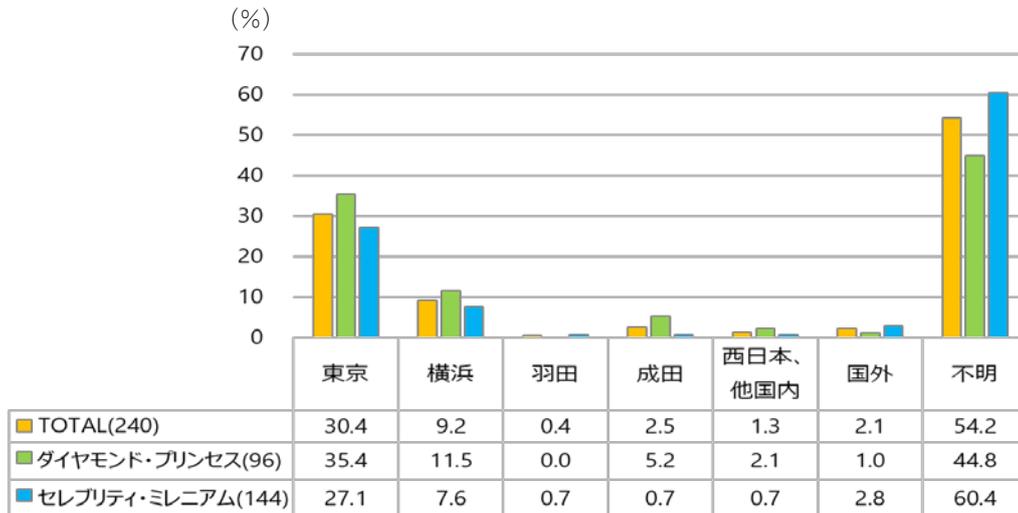


3 クルーズ旅客調査

調査目的	外国客船に乗船するクルーズ旅客について、乗船前後の行動や旅行の手配方法等について明らかにする。
実施時期	平成 30 年 9 月 25 日、30 日、 10 月 8 日、12 日、11 月 10 日
実施場所	大さん橋国際客船ターミナル
調査対象	横浜港から出港する客船（ダイヤモンド・プリンセス、セレブリティ・ミレニアム）へ乗船するクルーズ旅客 うち、北米、オーストラリア、英国などの地域客を中心にヒアリング
集計対象回答数	240 サンプル

(1) 乗船前の宿泊地

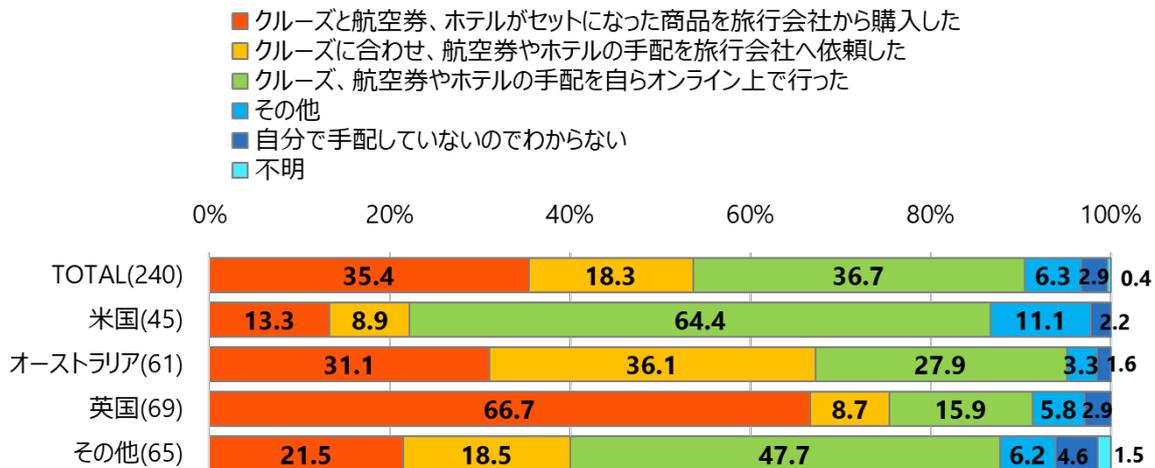
日本到着から乗船する間の宿泊地について、東京と回答した方が 30%、横浜と回答した方は 10%未満



※「不明」は、回答者が地理的な区別がつかない場合の回答区分

(2) クルーズ旅行の手配方法

米国では自身でオンライン予約を行ったと回答した人が 64.4%であったが、英国では 66.7%の人が旅行会社からセット商品を購入すると回答



お問合せ先

文化観光局観光振興課集客推進担当課長 鳥丸 雅司 Tel 045-671-4232